

令和元年度
学校関係者評価 報告書

令和2年3月23日実施
学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校

令和元2年3月24日

令和元年度 学校関係者評価報告書

学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人 エイシンカレッジ 日本ビジネス公務員専門学校 学校関係者評価委員会は令和元年度自己点検・自己評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下のとおり報告致します。

1. 基本方針

本学における学校関係者評価は学校自己評価（項目別の自己評価表）を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

また、公表については「日本ビジネス公務員専門学校 学校評価実施規定」に則するものとする。

2. 出席者一覧表

名前	役職	所属（企業・団体名）
＜学校関係者評価委員＞		
細貝 伸行	支店長	(株)エイエイピー 新潟支店
田代 克郎	常務取締役	アートビジネスサプライ 株式会社
＜事務局＞ ※田所 尚子…欠席者の代理出席		
森 久	学校長	日本ビジネス公務員専門学校
保坂 芳央	副校長	日本ビジネス公務員専門学校
岩根 英二	学科長(公務員)	日本ビジネス公務員専門学校
横山 孝	学科長(ビジネス)	日本ビジネス公務員専門学校
田所 尚子	学科長(主任)	日本ビジネス公務員専門学校
＜進行＞		
小林 幹直	事務局長	日本ビジネス公務員専門学校

欠席者

名前	役職	所属（企業・団体名）
<事務局>		
安達 徳義	学科長（医療）	日本ビジネス公務員専門学校

3. 委員会次第（概要）

- ・開催日時 令和元年3月23日（月） 13:40 ～ 15:20
- ・実施場所 日本ビジネス公務員専門学校 503 教室

（1）学校長挨拶

（2）自己評価に関する改善討議

- ①教育理念・目標
- ②学校運営
- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学生支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生の受入れ募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献

（以上の評価項目に関するご意見・ご提言を頂いた）

4. 学校関係者評価委員による評価・指摘事項

① 教育理念・目標

- ・3つのポリシーが公開されており適正である。
- ・キャリアガイダンスに関して学生の主体性や社会人としての思考を育成するものであることが評価できる。ただし、資格取得に要する授業時間からキャリア教育に係る時間をどのように捻出していくか議論する必要がある。

② 学校運営

- ・GPA 導入によりクラス内順位を学生・保護者が把握できるようになっている。順位を可視化したという変化をクラス運営にうまく活用できた1年であったと評価する。今後も学生の学習意欲により影響を与えられるよう工夫して欲しい。
- ・ペーパーレスに関しては技術革新に日々注視し、よい選択ができるように努めるべきである。

③ 教育活動

- ・内部、外部の研修の機会を活用できている。
- ・各学科の人材育成方法が理解できた。キャリアの浅い人材をどのように育成していくかに関しては、引き続き深く議論していくべきである。

- ④ 学修成果
- ・観点別評価の項目がより具体化されている。社会で出てから必要となる姿勢が評価項目となっている。
 - ・退学率の低減が図れた取り組みを評価する。
 - ・年々、多様な学生に対する指導の必要性が高まっている。マニュアルで対応できない点があることを意識していく必要を感じた。
- ⑤ 学生支援
- ・学生の相談に対して学科チームで対応している連携体制が確認できた。
 - ・「高等教育の修学支援新制度」の事務手続きに関する状況が理解できた。引き続き遺漏なきよう努めて欲しい。
- ⑥ 教育環境
- ・設備投資した新しい学習環境を把握できた。
 - ・デジタル教材の導入が着実に進んでいる。学生の学習意欲や知識定着に期待したい。
 - ・オンライン教育（動画の活用）の必要性を議論して欲しい。
- ⑦ 学生の受入れ募集
- ・コロナウイルス感染拡大を考慮した進学イベントの開催を計画して欲しい。社会問題の案件なのでリスクマネジメントに関しても注視すべきである。
 - ・少子化を進む中、教育機関が増加傾向にある。自校の魅力をどのように伝えていくか学校全体で思案して欲しい。
- ⑧ 財務
- ・公認会計士による会計監査が定期的におこなわれており、財務に関する透明性が確保できている。
 - ・学内の業務に関する監査も実施し、その適正化と改善につなげたらどうか
- ⑨ 法令等の遵守
- ・情報（個人情報やデジタルデータ）の管理は、複数人体制になる仕組みを工夫して欲しい。
 - ・セキュリティポリシーの明文化を検討したらどうか。
- ⑩ 社会貢献・地域貢献
- ・学生が地域活動に参加しながら社会とつながりを持っている様子が把握できた。

- 今後も学生に有益な情報を提供できるよう努めて頂きたい。
- 高く評価できる社旗貢献やボランティアに関しては表彰や報奨金贈呈など機会をつくり学生を称賛したどうか。

～学校関係者評価の総括～

学校の自己評価を基に令和元年度の学校活動に関して検証したが、教育目標や将来構想に沿った活動が多く報告されており概ね適正と評価する。

令和元年度は成績評価に関して見直しが図れた点が特徴として挙げられ、次年度以降はこれらがどのように学生の学習意欲と学力の向上に寄与していくかに関して期待する。

また、コロナウィルスや情報セキュリティなど社会問題に関する課題に関して、管理プロセスを立てて問題を解決いくように要請したい。

本評価委員会も学校運営の一助となるようこれからも積極的な提言に努めたい。